

No. 1 「新しい木構造の世界」

場所：新宿校舎3階アーバンテックホール 273名収容可
新宿区西新宿1-24-4、新宿駅西口より徒歩5分

工学院大学工学部建築系学科は、2011年4月から工学院大学建築学部になります。



都市木造

内容と予定時間
9月19日(日)

- 12:40 受付開始
- 13:00 開講の挨拶
工学院大学学長補佐・野澤康教授
司会・主旨説明：建築学科教授・宮澤健二
- 13:10 木構造の資源・環境と大規模・高層化
腰原幹雄(東京大学生産技術研究所)
- 14:10 耐火木造
安井 昇(桜設計集団)
- 15:10-15:20 休憩
- 15:20 中高層木造設計事例(金沢エムビル)
桐野康則((株)KAP一級建築士事務所)
- 15:35 中高層木造設計事例(下馬プロジェクト)
佐藤孝浩(桜設計集団・本学OB)
- 15:50 質疑・討論
- 16:00 終了



耐火実験炉内



金沢エムビル

新しい木構造の世界

木構造はわが国の古くからの建築様式である。1世紀以上前からのすばらしい伝統木造がある。しかし、これらは長い経験に基づく技術であった。戦中戦後の空白期を抜け出し、最近の20～30年で、木構造技術は大きく変わった。木質構造材料・部材、接合仕様、構法開発、防耐火技術や耐震設計理論により、新しい木構造の世界が開けつつある。本講座では、木材資源や環境問題を踏まえつつ、新しい木構造への挑戦を学ぶ。

ご友人・知人の方にもお誘い、御出席下さい。

参加者の皆様へ

- ・聴講料は無料で、座席は273名分あります。
 - ・先着順に前方座席から詰めて、着席して下さい。
 - ・本公開講座は12月17日まで全7回の連続講座です。
 - ・次回は10月15日(金)17:00～を予定しています。
 - ・第1回はインターネットライブ放送も予定しています。
- 詳細案内は、下記参照下さい。

<http://www.ns.kogakuin.ac.jp/~wd1041/>

写真：浅川敏

下馬プロジェクト



腰原幹雄 1968年千葉生まれ。1994年東京大学大学院修士課程修了、1994-2000年構造設計集団<SDG>、2001年東京大学大学院博士課程修了 博士(工学)、現在：東京大学生産技術研究所・准教授。

安井 昇 1968年京都生まれ。1993年東京理科大学大学院(修士)修了、1993年東京理科大学理工学研究科建築学専攻(修士)修了、1993-1998年積水ハウス(株)、1999年桜設計集団設立、2004年早稲田大学大学院(博士)修了 博士(工学)、現在：桜設計集団代表、早稲田大学理工学研究科客員研究員。

桐野康則 1970年鹿児島県生まれ。1994年東京大学大学院修士課程修了、1994年構造設計集団<SDG>入社、2002年桐野建築構造設計設立、2010年KAP設立、主な構造設計：金沢エムビル、星のや人道橋。

佐藤孝浩 1975年北海道生まれ。2000年工学院大学修士課程修了、2000年構造設計集団<SDG>入社、2005年腰原研究室アシスタント、2010年桜設計集団、主な構造設計：下馬の集合住宅、八幡浜市立日土小学校耐震改修。